

令和3年10月15日

富岡中学校 保護者 様

所沢市立富岡中学校  
校長 渡邊 弘之

### 保護者による学校評価について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。また、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、本校では富岡中学校の教育を一層高めるために、保護者の皆様方に学校評価のご協力を1月頃をお願いする予定です。そこで、具体的にどのような観点で学校評価をしていただくかを事前にお伝えすることで、より充実した評価になると推察しております。

つきましては、以下の学校評価の項目をご覧ください、お子様の学校生活を見守っていただけたらと思います。

### 記

#### 1 全体的にどの授業も、生徒の力が高まるように教えていると思いますか。

- ・生徒にとって「わかる授業」を行い、本校の目指す「アクティブ・ラーナー」の育成のため、授業の充実を推進し、家庭学習の充実にも取り組んでいます。
- ・全教科でシラバス（学習案内）の作成、配布をしました。
- ・基礎学力定着を図る漢字、計算、単語テストなどの実施をします。
- ・数学、英語等では、複数の教師で授業を担当するティームティーチングを取り入れ、きめ細やかな個に応じた指導をします。
- ・授業力向上のため、生徒に授業アンケートを実施します。
- ・授業時間外に学習支援を行います（定期テスト前、放課後等）。

#### 2 生徒の能力や努力を適切に、且つ、公平に評価していると思いますか。

- ・評価計画を生徒に提示します。
- ・5回の定期試験を行い、授業での態度や取組、小テスト等を加味しながら、評価を行います。
- ・県の学力調査、所沢市ステップアップ調査（進路指導資料）の結果も参考にします。
- ・生徒の能力・努力等、客観的に且つ公正公平に評価できるように努めます。

#### 3 学校では、学級活動や生徒会の活動、学校行事が活発に行われていると思いますか。

- ・学校全体の学級経営基盤を確立します。
- ・生徒の実態・特性と学年スタッフの独自性を融合させ、生徒の主体的・自治的な活動を推進します。
- ・コロナ禍の中でも、様々な工夫をし、活発な活動となるよう努め、課題を解決する力を養います。
- ・より一層質の高い学校行事となるように、体育祭の準備を早めに始めます。

#### 4 学校では、規律ある態度の育成（あいさつ・返事、清掃活動、迅速な集団行動）に力を入れていると思いますか。

- ・今年度、『自立を育む』に重点をおいた指導を行います。
- ・『富岡地区あいさつデー』を毎月10日に、活動を展開します。（新型コロナウイルスの状況によっては中止）
- ・無言清掃活動の徹底をします。
- ・時間を守ることを意識した学校生活の指導をします。

#### 5 学校は、進路指導、キャリア教育の視点に立って、生徒一人ひとりに将来の生き方を考えさせ、望ましい勤労観・職業観を育て、生徒の自己実現への支援に力を入れていると思いますか。

- ・1年次では、福祉の学習を通して、共生社会についての理解を高めていきます。
- ・2年次では、地域調べや農業体験、上級学校調べを通して、将来の生き方を深めます。
- ・3年次では、一人ひとりの個性、資質等にあった進路実現を目指し、親子進路教室の開催、三者面談を行います。
- ・ふれあい講演会を実施し、勤労観や職業観を育てます(新型コロナウイルスの状況によっては中止)。

## 6 学校は、生徒の心と体の健康の保持と安全の確保について心を配っていると思いますか。

- ・自転車通学者を対象とした自転車チェック、また、登下校指導をします。
- ・毎朝の健康観察カードのチェックと朝の会時の健康観察をします。
- ・安全を最優先とした教育活動をします。
- ・避難訓練や一斉下校訓練を実施しました。今後も、様々な想定で避難訓練を実施します。
- ・保健室やさわやか相談室と連携し、教育相談的な対応を心掛け、生徒の悩みや不安の解消に努めます。

## 7 いじめ等がなく、相手の立場を尊重して互いに協力し合う関係が生徒間にできていると思いますか。

- ・日常の学級活動や道徳の授業、非行防止教室(薬物乱用防止教室、情報モラル等)と連動していじめ暴力の根絶を目指します。
- ・学校生活に関するアンケートを学期に1回行い、実態把握に努め、教育相談週間とも連動して、いじめの早期発見・早期対応を心がけます。また、警察等関係機関への協力も視野に入れ、いじめ根絶を目指します。
- ・生徒総会では「富中人権宣言」をしました。今後も、人権を尊重しながら学校生活を送ることができるよう指導します。

## 8 生徒が、考えや意見を言ったり、悩みなどを相談したりする信頼関係が、教員との間にできていると思いますか。

- ・年間2回の三者面談、教育相談週間(生徒と学級担任、もしくは生徒と生徒が話したい教員の二者面談)など一人ひとりの悩みや不安の解消に努めます。
- ・ふれあい相談員、スクールカウンセラー(臨床心理士)、教育センター相談員等と連携し、個に応じた相談活動を行います。
- ・ふれあい相談員による1年生全員との面談を実施します。
- ・スクールカウンセラーによる2・3年生全員との面談を実施します。

## 9 生徒は、充実した学校生活を過ごし、成就観や達成感を味わっていると思いますか。

- ・学校では、一人ひとりに『たくましく心豊かに生きる力』を育成するために、「自己存在感」「共感的人間関係」「自己決定」を重要な視点として、教育活動を推進します。
- ・部活動の指導にも力を入れます。

## 10 学校は、積極的に説明責任を果たし、情報を保護者に知らせていると思いますか。

- ・年2回の保護者との三者面談の設定(3年生は4回)をします。
- ・生徒が活動している様子の公開、学校・学年・学級だよりの発行をします。
- ・必要に応じて生徒の状況に関するご家庭への連絡(電話、家庭訪問等)を迅速に行います。

### ご家庭の様子として、以下の項目をお伺いします。ご協力お願いします。

- ① 学校から送られてくる文書などは、よく読んでいますか。
- ② 子どもと話す機会をよく持っていますか。
- ③ 子どもの交友関係や持ち物に気を配っていますか。
- ④ 子どもは予習、復習などの家庭学習の習慣がついていますか。
- ⑤ 子どもは約束した時間までに家に帰っていますか。
- ⑥ 子どものICT機器(スマートフォン、タブレット等)の使用について約束事がありますか。
- ⑦ 子どものICT機器の利用(連絡先やSNSの利用状況等)を把握していますか。
- ⑧ 子どもは自分の脱いだ靴をそろえたり、部屋の整理整頓をしたりしていますか。
- ⑨ 子どもは時と場に応じたあいさつや返事ができていますか。
- ⑩ 子どもは家事の分担など、家族の一員としての役割を果たしていますか。